

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	伝統産業振興事業				シート番号	015-020
担当部署名	産業振興	局	商工労働	部	ものづくり支援	課 評価責任者(課長名) 北口

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	4	産業を振興し、地域の持続的発展を支えます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	中小企業の経営基盤の強化	有
	2	事業開始年度	昭和 58 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	TOUR OF JAPAN組織委員会堺ステージ実行委員会規程 等			
	4	関連計画	堺市産業振興アクションプラン			
5	事業実施の経緯	伝統産業は、本市の基盤産業である「ものづくり」の象徴的存在であり、次世代に継承すべき重要な地域資源であるが、ライフスタイルの変化や安価な外国製品の進出による需要の減退、後継者の確保難などにより、産業的基盤の喪失が危ぶまれる大変厳しい状況となったことから、各支援事業の実施に至った。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	伝統産業事業者、産地組合、市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	伝統産品の需要開拓や後継者育成等の振興施策を実施し、伝統産業の衰退を抑制するとともに、産業として次世代へ継承することを目的とする。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	①販路開拓や技能継承に取り組む産地組合等への補助②後継者を育成する伝統産業事業者への補助③見学者受け入れのための設備を導入した事業所のPR④ツアー・オブ・ジャパン堺ステージの開催⑤伝統産業PR冊子の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他( )				
10	直接実施以外の主な支出先	市内企業等					

Ⅲ. 投入量

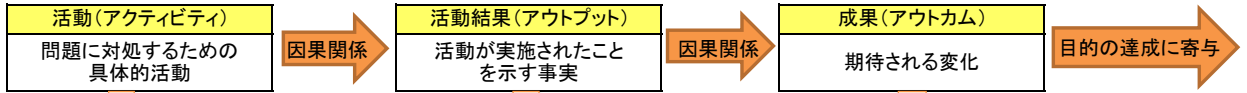
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	77,634	74,693	72,983	70,007	66,880	63,427	62,742	
	主な事業費内訳	ツアー・オブ・ジャパン開催負担金	千円	43,000	27,028	43,000	33,510	42,500	32,677	42,500
		後継者育成事業補助	千円	15,200	14,260	14,500	14,072	15,600	14,100	15,100
		ものづくり「魅せる化」支援事業補助金	千円	10,000	10,000	6,000	6,000	-	-	0
		ものづくり魅力発信事業	千円	-	-	-	-	500	497	500
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他(地方創生交付金、ツアー・オブ・ジャパン堺ステージ応援指定寄附金)	千円	20,100	5,140	64,100	3,100	21,600	3,085	20,100
		一般財源	千円	57,534	69,553	8,883	66,907	45,280	60,342	42,642
	12	人件費 (b)	千円	16,400	16,400	16,400	16,400	16,200	16,200	10,660
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	94,034	91,093	89,383	86,407	83,080	79,627	73,402	

# 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	伝統産業振興事業	シート番号	015-020
-------	----------	-------	---------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)》

### ロジックモデルの考え方



[14]令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>・本市地場産業の振興のため、地場産業を営む団体の事業活動を支援する補助と、伝統産業の後継者育成に取り組む事業者を支援する補助を行った。                  ・ものづくりマスター制度を運営し、卓越した技能の継承や当該技能を広く伝承する者として、マスターを認定し、ものづくりに関する市民等の理解を深めるため、マスター派遣事業を実施した。                  ・市内ものづくり企業のイメージの向上や集客による地域経済の活性化につなげるため、平成30年度まで実施していた「ものづくり魅惑化」支援事業補助金を交付した事業所を紹介する専用のホームページを作成し、市ホームページで公開した。                  ・日本を代表するロードレースであるツアー・オブ・ジャパンを開催し、市民をはじめとする多くの人に、身近で迫力のある世界レベルのレースを感じていただくとともに、自転車のまちとして塚の魅力発信につなげた。</p>						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		後継者育成事業者数	者	目標値	15	15	15	15
				実績値	16	17	15	
				達成率	107%	113%	100%	
	評価			良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		堺市伝統産業後継者育成事業補助金の実績					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		マスター制度利用団体のうち、初めて利用する団体の割合	%	目標値	60	60	60	-
				実績値	88	88	90	
達成率				147%	147%	150%		
評価	大変良い			大変良い	大変良い			
算出方法・設定根拠など		ものづくりマスター制度を初めて利用する団体数(令和元年度末でマスター派遣事業を廃止したため令和2年度の指標設定なし)						

### 事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	① 後継者育成事業者数	者	16	17	15
	② 上記①にかかる年間経費	千円	18,294	18,106	18,085
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,143,375	1,065,059	1,205,667
備考(算出についての説明等)		伝統産業後継者育成事業補助金の補助金額÷人件費			
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	① マスター制度利用団体のうち、初めて利用する団体の参加人数	人	2,995	3,093	1,891
	② 上記①にかかる年間経費	千円	3,315	3,151	2,710
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,107	1,019	1,433
備考(算出についての説明等)		ものづくりマスター派遣事業謝礼金と短期臨時職員の賃金合計			

### 業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>①後継者育成事業者数については、アンケートを通じて対象事業者へ当補助金の周知を図ったこと、また、前年度に補助金交付した事業者に対して、次年度の申請についても漏れなく案内したことで、目標達成に至った。単位あたりの経費が増加している理由については、後継者として補助金対象になる人数にそれほど変化がないものの、1事業者あたりの補助金対象者が増加していることが原因である。</p> <p>②マスター制度利用団体のうち、初めて利用する団体の割合については、伝統産業の情報発信に努めたこと、また、利用者が関係各所へ本制度を情報発信してくれたことで、目標達成に至った。</p>

- 【分析のチェックポイント】
- 事業の達成度はどうでしたか。
  - SW2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
  - 資源投入は適切でしたか。
  - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
  - 有効性は高いですか。低いですか。
  - 効率性は向上していますか。
  - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
  - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	伝統産業振興事業	シート番号	015-020
-------	----------	-------	---------

<< V. 点検 >>

< 点検の前提 >

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 伝統産業の認知度の低迷や安価な海外製品の台頭などによる伝統製品の需要の減退、職人の高齢化など依然として厳しい状況にあるため、当該事業を廃止すると、伝統産業が廃れてしまう恐れがある。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 上記のような理由で厳しい状況にあるため、継続した支援が必要である。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 上記のような理由から、後継者育成支援をはじめとする伝統産業への支援は、少なくとも現状レベルは必要であるため、事業手法の見直しは難しいが、事務費などのコスト縮減に努める。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 人が集まるようなイベントについても、国、府、市の方針に沿って、イベントの中止、延期など適切な判断を行っている。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( 観光推進課 ) 関連事業名 ( さかい利福の社管理運営事業 ) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>理由・説明</b> ①PR冊子作成やホームページ作成など公民連携が可能な業務については既に民間委託している。 ②ものづくりマイスター派遣等事業は電子申請受付を行うなどICT活用できる業務については既に行っている。 ③他部局とは必要に応じて調整・連携を行っている。 ④伝統産業のPRイベントにおいては、大阪府や他市とともにイベントを開催している。 ⑤他市においても後継者育成や地場産業の振興に対する補助金など、ほぼ同様の内容で事業が実施されている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		<b>所見</b> 伝統産業の認知度の低迷や安価な海外製品の台頭などによる伝統製品の需要の減退、職人の高齢化など依然として厳しい状況にある。産地組合や伝統産業事業者等に対して需要開拓や技術継承にかかる支援を継続し、市場を見据えた販路開拓や次世代の牽引役となる人材育成を図る。		